

2011年3月9日

ご関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

（ 社団法人日本雑誌協会
社団法人日本雑誌広告協会
社団法人日本広告業協会 ）

雑誌広告オンライン送稿Q & A

平素は雑誌広告デジタル送稿推進協議会の活動にご高配・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、当協議会と株式会社デジタルSEND/日本電気株式会社が開発を進めている、雑誌広告のオンライン送稿サービスに関して、「雑誌デジ送ナビ」にもさまざまなお問合わせをいただいております。そこで、代表的な質問と、それに関連する情報をQ & A形式で解説いたします。ご覧いただき、ご参考にしていただければ幸いです。

Q オンライン送稿とは、電子メールの添付ファイルで原稿を送ることですか？

A いいえ、違います。当協議会が競合プレゼンの末、オンライン事業のパートナーとして選定した株式会社デジタルSEND/日本電気株式会社の2社連合が、雑誌広告のオンライン送稿システムとして開発したサービスを契約することによって、利用可能になります。電子メールの利用は、セキュリティ上の問題もあるため、推奨しておりません。

Q もう少し詳しく教えてください。

A ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア等で実運用されているオンライン送稿システム「QuickCut」を日本仕様にカスタマイズして、ご利用いただきます。基本的には、オンラインに載せるためのチェック機能をもった「QuickPrint」、チェック済み原稿を送受信するための「PageStore」という2つのソフトを使って運用します。

Q サービスを受ける際に費用はかかりますか？

A ソフトインストール代、利用時の周辺費用、送稿時の課金、プリフライト(チェック)料などがあります。その他、PC、社内LAN等のインフラ周りの投資も会社によっては必要になります。

Q デジタルSENDといえば、新聞広告の電子送稿サービスも提供していますが、QuickCutとの違いは？

Q 新聞広告は専用回線を利用しますが、雑誌広告ではインターネット回線を使用します。また、新聞広告はイラストレーターの EPS 保存原稿が送信対象ですが、雑誌広告は PDF が送信対象となります。

Q PDF とは J-PDF ですか？

A はい。2011 年 1 月 14 日に当協議会がリリースした「J-PDF201101C」に加えて、「モノクロ(グレースケール)PDF201101M」も送信可能です。

※2008 年策定の PDF (旧 PDF) ではオンラインに乗せることはできません。

※2008 年策定の PDF (旧 PDF) は、2011 年 6 月末を持って受付終了となります。

Q J2 のオンライン送稿は？

A できません。QuickPrint は PDF のプリフライト機能をもっており、これで認証された原稿だけをオンライン送稿することになります。したがって、不備データを流通させることがないので、印刷するうえでいちばん安心なものといえます。

Q オンライン送稿はいつ開始されるのですか？

A 2011 年 9 月サービス開始予定です。

Q サービス開始後は従来のメディアによる送稿はなくなるのですか？

A いいえ。オンライン送稿と従来のオフライン送稿は併走することになります。ただし、入稿ファイルフォーマットを 2011 年 1 月 14 日リリースの新 PDF に一本化（今後、J2 も廃止していく予定）して行きますので、将来的にはオンライン送稿がメインの入稿方法になるでしょう。

Q サービス開始に関する詳細を教えてください。

A 現在、デジタル送稿推進協議会では株式会社デジタルSEND/日本電気株式会社の 2 社連合とシステム構築に向けて、技術面・運用面の両方からさまざまな協議を続けております。春にはサービス内容の正式発表をいたします。

今後も「雑誌デジ送ナビ」(<http://www.3djma.jp/>)を通じて、オンライン送稿に関する情報を発信してまいります。